



9月中旬にオープン予定の(株)北洲 盛岡サステイナブルショップ (完成予定パース)
 左側が在来工法の在来棟で右側が枠組壁工法の準耐棟 (準耐火建築物)

木造建築のビジネスチャンス拡大 住宅事業で培った技術を中大規模木造建築に！

盛岡市
 で構造
 見学会

東北地方を中心に注文住宅事業、リフォーム事業、不動産事業、建材販売などを手がける株式会社北洲（宮城県黒川郡、村上ひろみ社長）は5月15日と16日の二日間にわたり、国産CLTや大開口フレームを採用した木造2階建て「盛岡サステイナブルショップ（仮称）」の構造見学会を開催。200人を超える業界関係者が見学会に集まった。

見学会開催の挨拶で村上社長は、「この建物はCLTや耐震開口フレーム、アルセコ外断熱システムなど、これまでに無い新しい技術を導入している。これは低炭素社会の実現など環境面の配慮だけでなく、木造建築物が元々備えている温もりや断熱性能を追及し、サステイナブルなオフィスを実現するため。また、こうした試みを通じて木造建築のビジネスチャンスを広げてゆき、中大規模の木造建築物をもっと増やしていきたいと考えている」と述べた。

見学会は初日が設計事務所やゼネコンなどの関係者向け、二日目は個人事業主や施設経営者などの一般向けの内容で開催された。

概要	
【名称】	盛岡サステイナブルショップ（仮称）
【所在地】	岩手県盛岡市向中野7-15の一部
【工法】	枠組壁工法（2×6）、木造軸組工法
【敷地面積】	2099.99㎡（635.25坪）
【延床面積】	準耐棟：645.37㎡（195.22坪） 在来棟：419.3㎡（126.84坪）
【設計・施工】	株式会社北洲



見学会には200人を超える関係者が訪れた